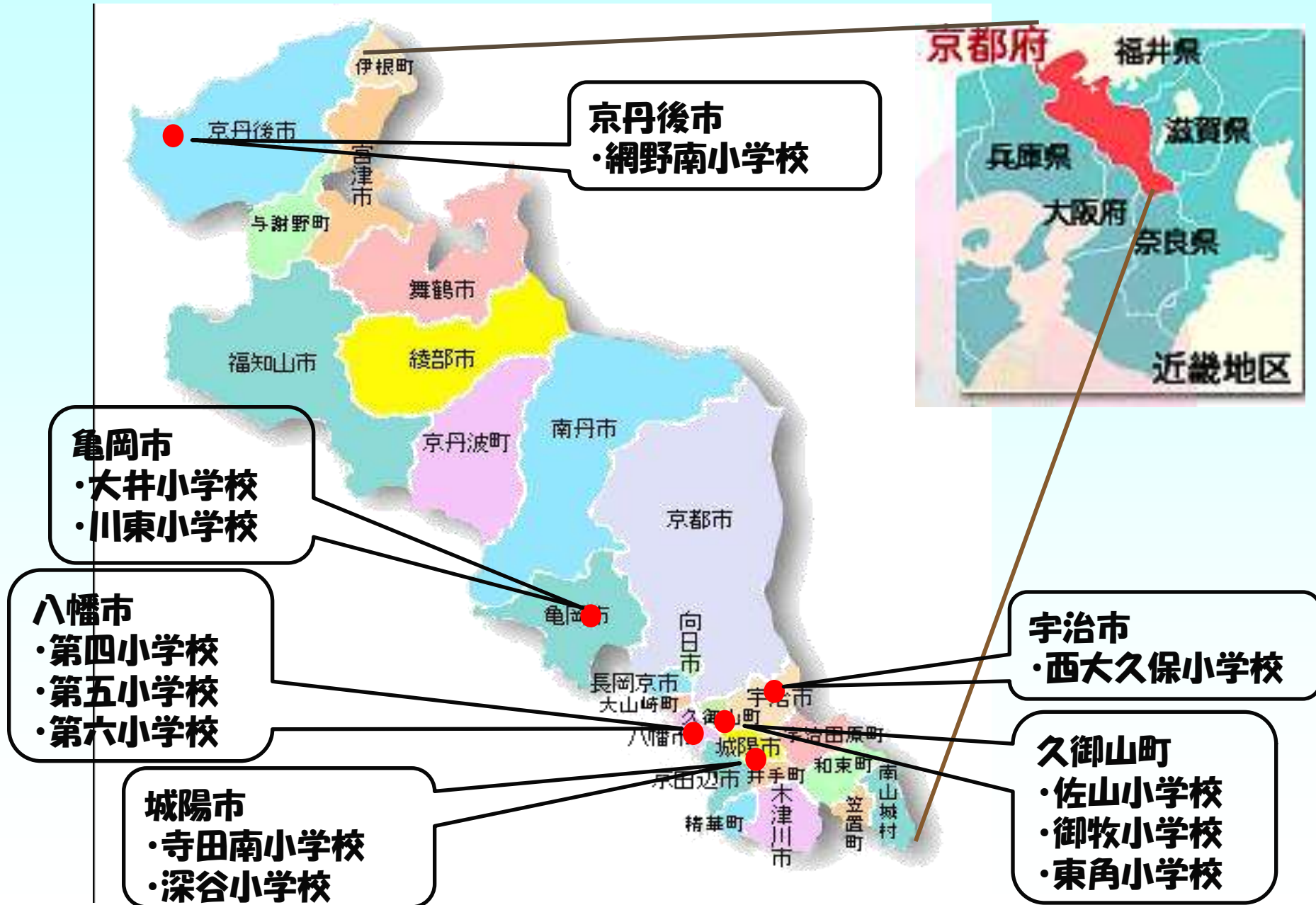


はじめに. 取組の経過と背景



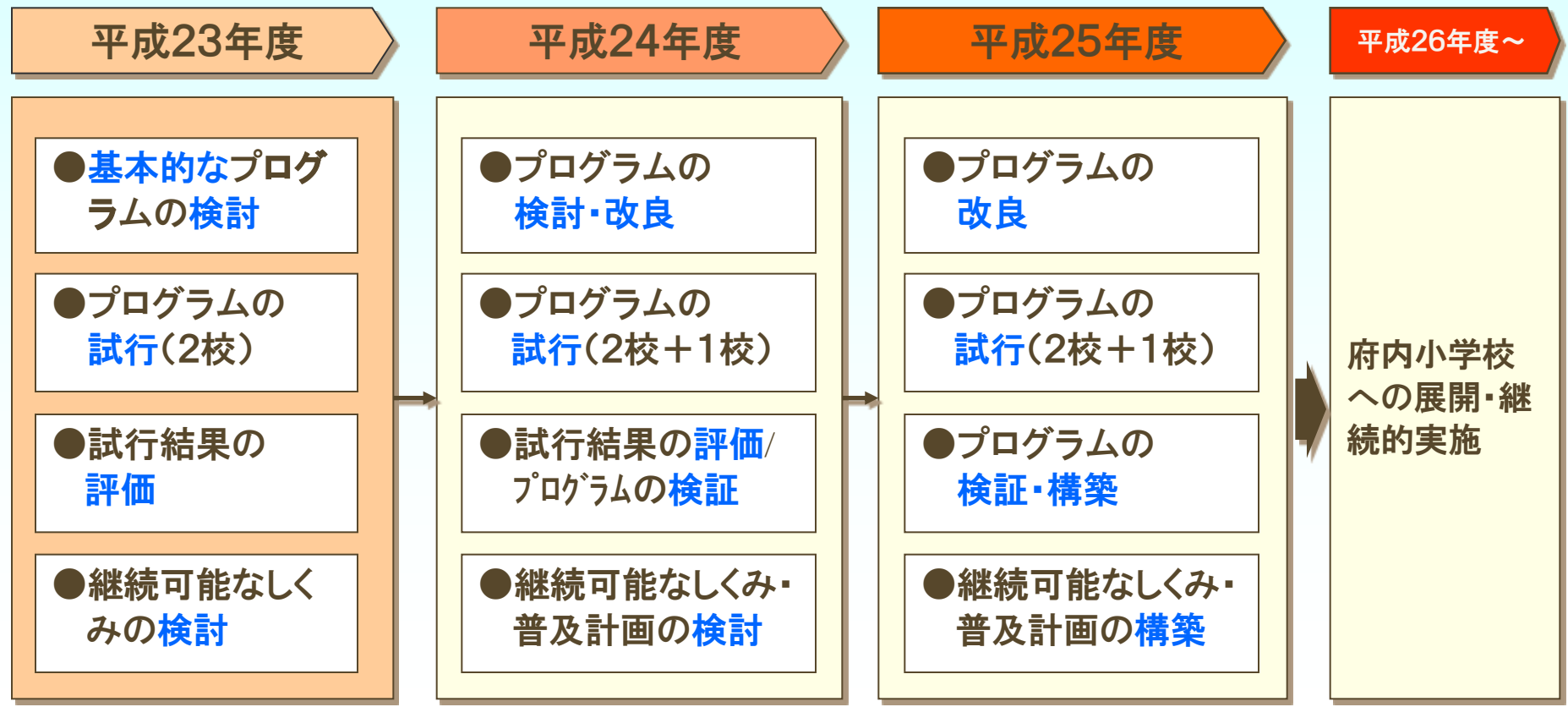
1. プロジェクトの目的

1. プロジェクトの目的・概要

プロジェクトの目的・概要

●京都府下の小学校における交通環境学習の普及・定着を目的として、3年間の試行・検証の繰り返しを通じて、しくみづくりを実施

▼本プロジェクトの流れ



1. プロジェクトの背景・目的

H23の試行対象

・亀岡市の2校で実施



1. プロジェクトの背景・目的

H23の試行対象

- 亀岡市東部の2校で、プログラムを検討し試行
- 5年生を対象に実施



2. 平成23年度の 試行の着眼点とポイント

2. 平成23年度の試行の着眼点とポイント

着眼点とポイント

① 府域の小学校への定着

⇒ 教師の視点での**教育的な意義**を意識したプログラム

② 学習、啓発効果の浸透、定着

⇒ 自然と考えを深められるような**興味を引く導入・展開**

⇒ 学習内容の実践、振りかえりを設け、**考える機会を増加**

③ 家族ぐるみの確実な行動

⇒ 授業結果の**フィードバック**

⇒ 家庭で**一緒に行動を考えてもらうしくみ**

2. 平成23年度の試行の着眼点とポイント

授業プログラムのコンセプト

・地域の特性・交通状況を踏まえ、環境や地域にとって望ましい交通行動や社会性の向上につながる学習テーマを設定

大井小学校

川東小学校

地域の特性

- ・JR並河駅に近く鉄道が使いやすいため、交通手段の使い分けがある
- ・バスにはほとんどなじみがない

- ・半数以上が通学時にバスを利用しており、バスは身近な交通手段
- ・通学時のマナー向上が必要
- ・通学以外では車の依存度が高い

ねらい・テーマ

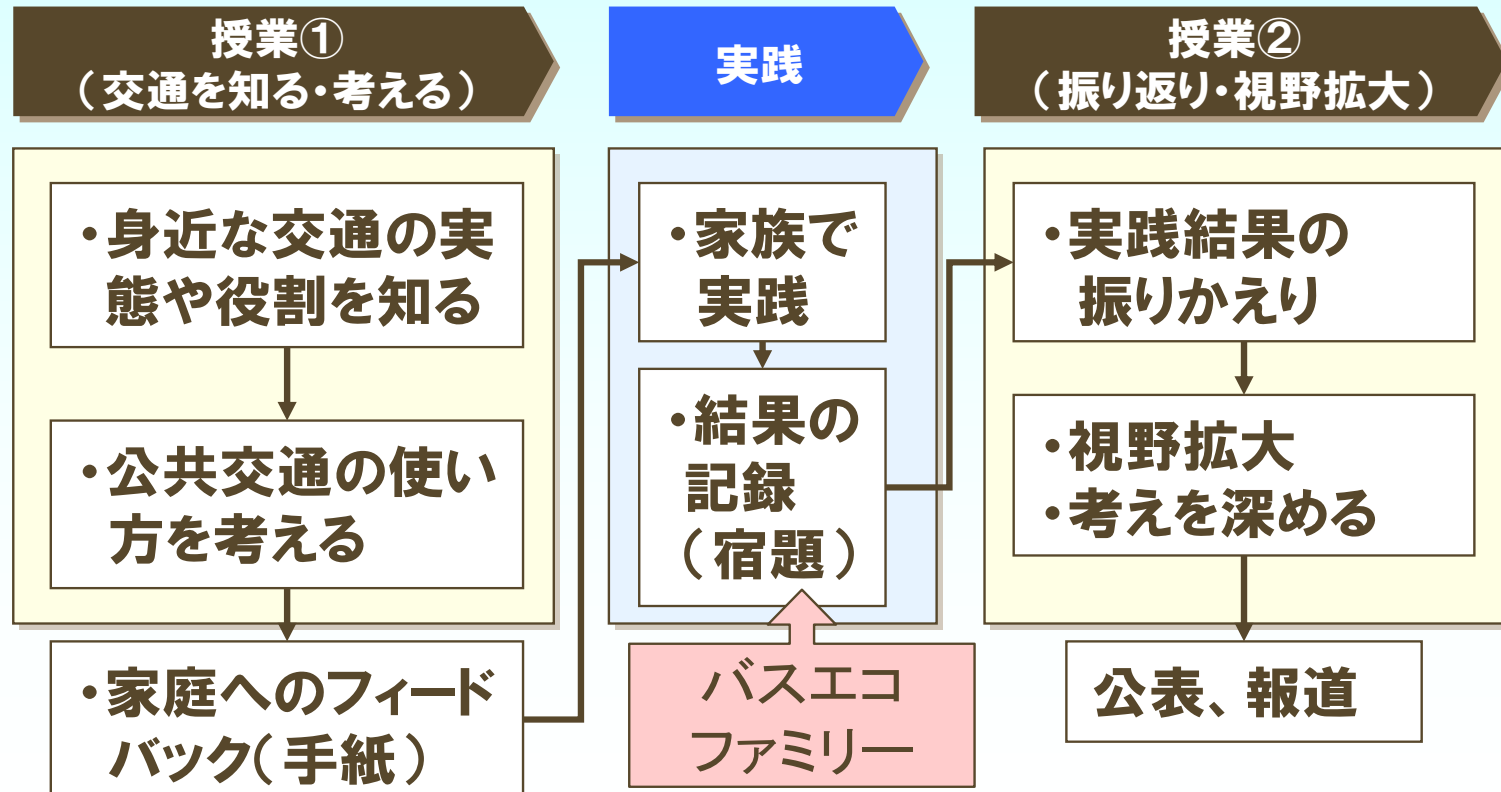
●交通手段を選ぶ際、様々な視点から**考えて選択**することを定着

●地域の生活を支えるバスについて考え、**自発的・継続的な行動**へ結びつける

3. 実施した授業の内容

授業の流れ

- ・2時間×2回とし間に実践期間を設定(バスエコファミリーと連携)
- ・実践期間に家族での行動、考察を後押し
- ・考える機会を増やして、浸透



3. 実施した授業の概要

3. 実施した授業の内容

大井小学校(1回目)

ねらい
・テーマ

●交通手段を選ぶ際、様々な視点から**考えて選択**することを定着

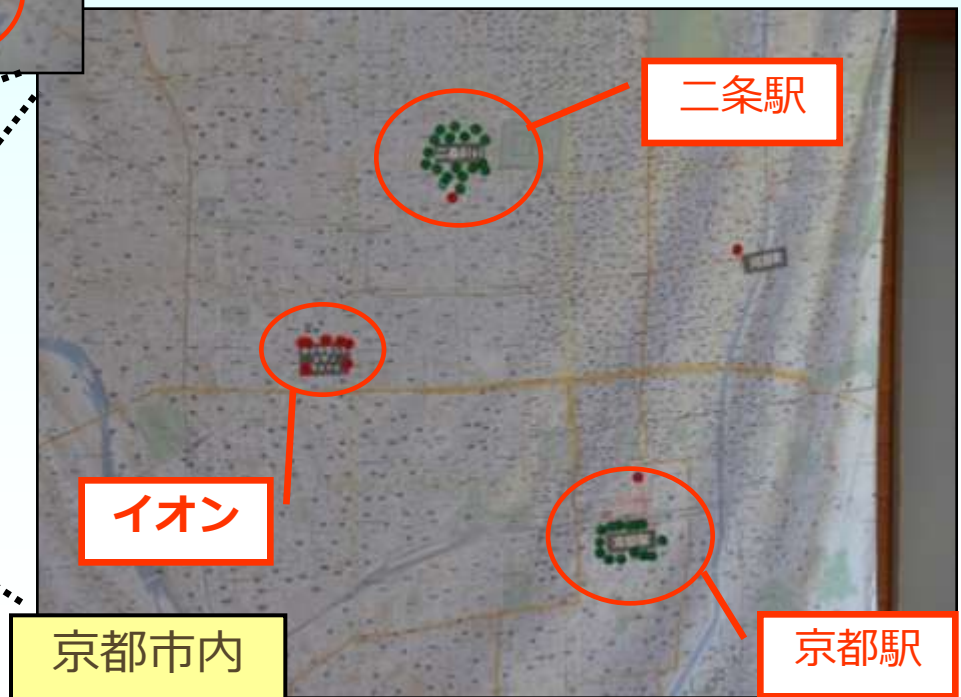
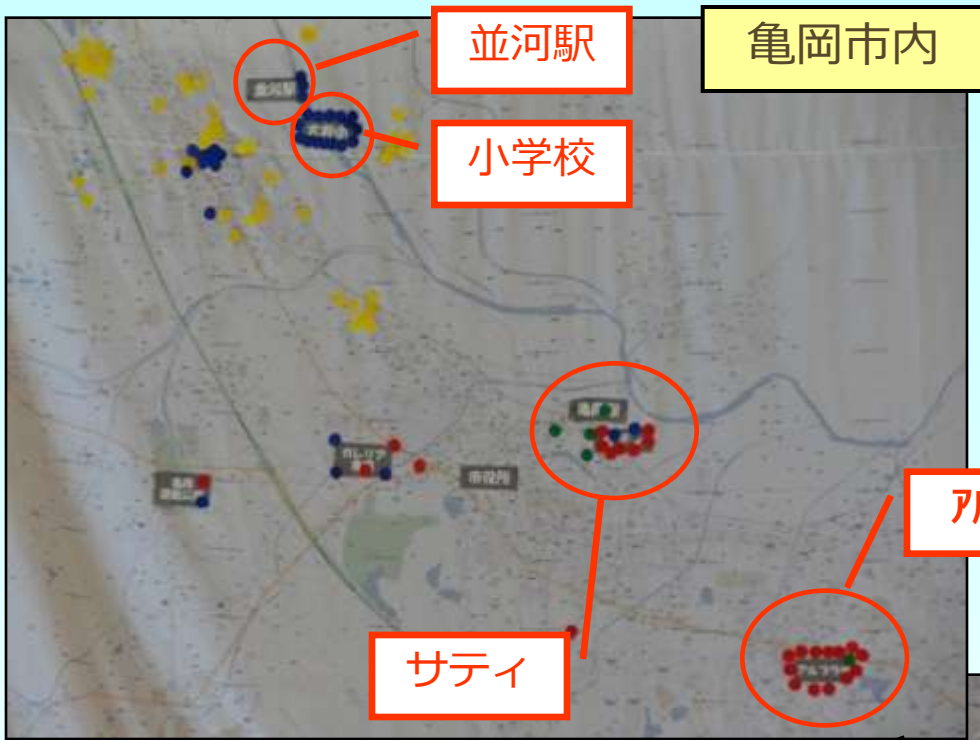
●**ガリバーマップ**上の良く行く場所にシールを貼る
⇒交通手段の**利用実態**を知る



●シールをみながら、交通手段の**選択理由**を考察
⇒各手段の**様々な良い所**を知る



●多様な視点から、交通手段を考
えて選択することを学ぶ



3. 実施した授業の内容

大井小学校(フィードバック)

ねらい
・テーマ

●交通手段を選ぶ際、様々な視点から**考えて選択**することを定着

▼フィードバックシート

▼宿題シート

授業の
結果報告

行った場所
や手段を記録

バスエコ
と連携

利用した交通
手段の良い所
を探す

平成13年
9月2日

みんなの交通と環境について勉強しました!!

カリバーマップを使って交通手段を選ぶ理由やそれぞれの良い所を考えました!

- カリバーマップに書いてある箇所よく行く場所に、利用する交通手段別のシールを貼り、その理由やそれぞれの良いところについて考えました。
- 「目的」や「誰と一緒に行くか」など、その時々で便利な手段を使い分けていることが分かりました。
- 一方、電車・バスといった公共交通機関と自家用車ではCO₂の排出量や事故に遭う可能性が異なること、便利さ以外の視点でも交通手段について考える必要があることを学びました。

※「カリバーマップ」は同モデルもある大塚を参照してください。まちや交通の様子をしっかりと観察できます。

▼カリバーマップにシールを貼り付けている様子 ▼交通手段の良い点などを考えている様子



▼電車で学校への交通手段とその理由の例

- 電車で学校(サチヤなど)
- 電車やバスだと時間が決まっています、ゆっくりできない
- 食べ物をたくさん買って重たいから
- 電車だと3分ずつ
- 車が混んでいた

▼授業で分かったこと・感想

- 乗り物それぞれ良いところがあることが分かりました。
- CO₂の排出量は、電車が一番多いと知っていたら、少ないからびっくりしました。
- 事故事故が起こる確率が割合と聞いたらびっくりしました。
- その時の状況によって乗り物を変えることで「環境」にもやさしくなるということも分かりました。楽しく安全に行き先へ行くことができるといいことがわかりました。

▼アルファザ

- 近くに駅がない、駅が遠い
- ドライブが楽しい

●車で行く場所
●電車やバスで行く場所

ご家庭でも交通手段について考えてみてください!

- この秋の行事等、ご家庭でお出かけされる際、利用する交通手段やその理由を子どもと一緒に考えてみてください。また、その時使った交通手段の良い所を子どもと一緒に探してみてください。
- これをもとに子どもに宿題シートの作成をさせていただきますようお願いいたします。この結果をふまえて2回目の授業を実施したいと思っております。

※京葉府では、11月の土・日・祝日にご家族と一緒にバス利用すると、子どもの料金が無料になる「バス・エコファミリー」を実施します。ご家庭でのお出掛けにご利用ください。

宿題シート

交通手段についてお家の人と一緒に考えよう!

_____ 組 _____ 番 氏名 _____

家族で遊びや買い物に出かけた時のことを記録しましょう。
利用した交通手段(どの交通手段を利用するか?)やその理由について、お家の人と一緒に考えてみましょう!

→利用した交通手段の良いところをお家の人と一緒に探してみてください!

【1】出かけた場所や交通手段、その理由

〈日付〉 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日

〈行った場所〉 _____ 〈何をしに行ったか〉 _____

〈交通手段〉 バス ・ 電車 ・ 車 ・ 自転車 ・ _____

※使った乗り物全てに○を付けてください

〈一緒に行動した人〉 _____

〈交通手段を選んだ理由〉 _____

【2】利用した交通手段の良いところ

〈利用した交通手段の良いところ〉 _____

〈その他、気づいたこと・考えたこと〉 _____

3. 実施した授業の内容

大井小学校(2回目)

ねらい
・テーマ

●交通手段を選ぶ際、様々な視点から**考えて選択**することを定着

●亀岡の工業製品流れを紹介
⇒**モノの移動**(物流)へ視野を拡大



これは
何でしょう?



かぎの穴

●宅急便の車両見学
⇒**物流での環境**に対する工夫を学ぶ



●身近な物流の工夫を知ることを通じて**自分の行動を考える**きっかけに

みんなができること

いろいろな工夫・取組



ハイブリット



電気自動車



新スリーター



嵐山電鉄

みんなができること

「人の動き」でも、みんなにできることがあるはず

物流の工夫のように、みんなにできることを考えてみよう！



まずは、

どうしても使わないといけない場合は、

▼自分にできること

- 見ていないテレビは消しておく
- 買物袋を持って行く
- 近いところは自転車で行く
- スリーターに乗ってる人を見たら道をあける

▼授業でわかったこと・感想

- 割高でも環境にやさしいクルマを使いたい
- 見えない工夫がされているのが分かった。
- 配達の人を見かけたら手伝ってあげたい。

①できるだけ車を使わないようにする

②車を環境やまちにやさしく使う・・・

3. 実施した授業の内容

川東小学校(1回目)

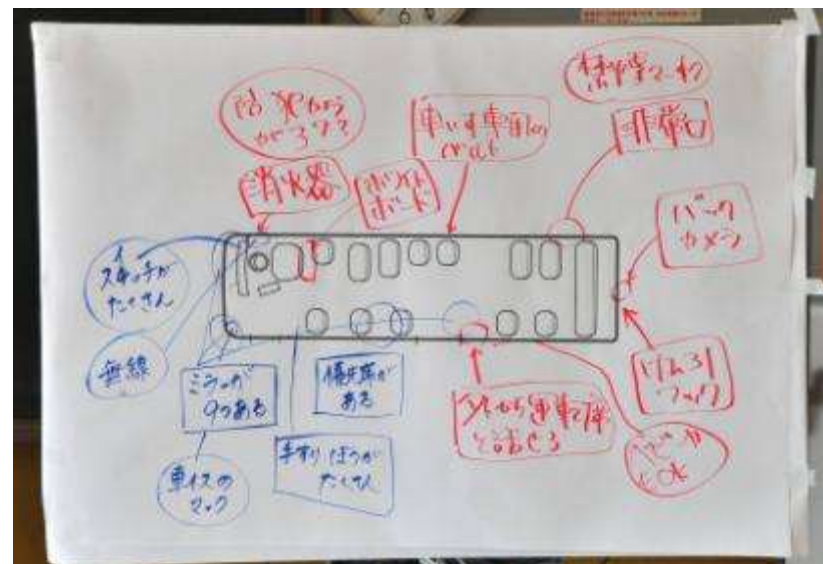
ねらい
・テーマ

●地域の生活を支えるバスについて考え、**自発的・継続的な行動へ**

●地域を走るバス車両を見学
⇒身近なバス(通学利用)を振り返る



●車両の工夫点やその理由を考える
⇒地域を支える**バスの役割**を知る



●バスの大切さを知り、**バスの利用**や
マナーの実践につなげる

3. 実施した授業の内容

川東小学校(フィードバック)

ねらい
・テーマ

●地域の生活を支えるバスについて考え、**自発的・継続的な行動へ**

▼フィードバックシート

▼宿題シート

授業の
結果報告

場所や手
段を記録

バスエコ
と連携

バスの工夫点、
よくする方法

平成25年 5月29日

川東を走るバスについて勉強しました!!

バス車両を見学し、人や環境へのやさしさや使い方を学びました!

- 実際のバス車両を見学し、バスは高齢者や障がいのある人などが安心して使うことができるように様々な工夫されており、人にやさしい乗り物であることを学びました。
- また、バスは車に比べCO₂の排出量が少ないなど環境にもやさしいことを学びました。
- マナーを気をつけながら、できるだけバスを利用することが地域にとって重要であることが分かりました。

▼バス見学の様子



▼授業で分かったこと・感想

■バスの工夫点について

- ・車いすも乗れるようにいすが高いため、ペーパーも乗れるように段差が下がったりするのほめて思いました。
- ・ノンステップバスは車いすに乗っている人にやさしいのでとてもいいバスだなと感心しました。
- ・毎日バスに乗って学校に来るけど、知らなかったことが多かったです。後ろにバックカメラが付いていたり、車いすや高齢者の人が簡単に乗れるものがあったりしたのでびっくりしました。
- ・手ぶらから乗ることがあると思うから、車いすのような工夫を期待したい。

■バスの使い方について

- ・これから高齢者やなどの人がいたら座をゆずってあげたいです。
- ・体の不自由な人がいたら座をかわって、うるさい人がいたら注意したいです。
- ・買い物物ではなるべくバスを乗りたい。

ご家庭でもバスについて考えてみてください。

- この秋の行事時ご家庭でのお出かけに、できるだけバスを利用してみてください。また、その際、子どもが授業で見つけられなかったバスの工夫点や、もっとこうすればみんなが安心して利用できたり、便利になったりするところを、子どもと一緒に探してみてください。
- これをもとに子どもに宿題シートの作成をさせていただきますようお願いいたします。この結果をらまえて2回目の授業を実施したいと思います。

※京都府では、11月の土・日・祝日にご家族と一緒にバスを利用すると、子どもの料金が無料になる「バス・エコファミリー」を実施します。ご家庭でのお出かけにご活用ください。

宿題シート

バスをできるだけ利用してみよう!

氏名 _____

_____に家まで遊びや買い物に出かけた時のことを記録しましょう。
 _____の人と話し合っできるだけバスを利用してみよう!
 このとき、バス見学で見つけられなかった工夫点や、もっとこうすればみんなが安心して利用できたり、便利になると思うところを、お家の人と一緒に探してみよう!

(1) 出かけた場所

〈日付〉 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日

〈行った場所〉 _____ 〈何をしに行ったか〉 _____

〈交通手段〉 バス ・ 電車 ・ 車 ・ 自転車 ・ その他 _____

※使った乗り物全てに○をつける

↓

〈その手段を選んだ理由〉 _____

〈一緒に行動した人〉 _____

(2) バスの工夫点や、もっとよくする方法

〈気づいたバスの工夫点〉 ※バスを利用した場合に書きましょう。

〈みんながバスをもっと安心して便利に利用できるようにする方法〉
 ※バスを利用した場合に

〈その他、気づいたこと・考え方など〉 _____

3. 実施した授業の内容

川東小学校(2回目)

ねらい
・テーマ

●地域の生活を支えるバスについて考え、**自発的・継続的な行動へ**

●班で**使いたくなるバスにする方法**を考える(ワークショップ)



●そのうち自分にできることも考え、**自発的・継続的な行動へ**

まとめ

●人にやさしく地域を支えるバス

1回
目

みんなと地域のかかわりやつながり

2回
目

●バスに乗らなかつた理由や工夫点

地域をよくするために、みんなも
いろいろなことを考えることができる！

2回
目

●自分たちにできそうなこと

みんなにも実際にできることがある！

4. 実施結果

4. 実施結果

テーマや内容について

●「交通」を通じた社会性の向上効果はあり？

⇒「電車ならおしゃべりしながら行ける」、「自分より小さい子に席を譲る」、「宅配便の方を見かけたら手伝いたい」等の感想

●実物、見学に対する興味は強い

⇒バスやトラックの見学は集中でき導入がスムーズ、メリハリも

⇒WSも論点を整理すると、予想以上に意見がたくさん

●実践タイミングは定着には効果的

⇒交通という題材は実践がしやすい

⇒宿題提出率が100%！（普段あまりない）

●理解度・効果はばらつきあり

⇒考察はレベルがいろいろ、理解度もばらつき

4. 実施結果

実施体制・運営について

- **事業者等、関係者の連携でスムーズに実施**
 - ⇒ 事業者(バス、物流等)と分担することで、**負担軽減**
 - ⇒ **制服**等で来てもらえると特に興味を持ちやすい
 - ⇒ 導入は**地域に詳しい**市町村や先生、まとめは**専門的な知識**がある行政等が実施すると効果的？

- **複数回の時間確保はハードルが高い**
 - ⇒ 今回は先生に授業を**担当してもらえず**…
 - ⇒ 2回×2時間の確保が難しく**時間を短縮**した学校も
 - ⇒ **3年間**は同じ学校で試行することが決定
(今年度の**内容を認められた**?)

5. 考察

～MM教育の地域への浸透
・継続に向けて～

5. 考察 ～地域への浸透・継続に向けて～

◆地域全体への浸透へ向けて

・・・自治体or小学校に「実施したい！」、
「面白そう！」と思ってもらう必要あり



“なぜ実施するべきか”共感

+授業への期待感を高め、抵抗感をなくす



①授業をわかりやすく、とっつきやすく

②意義や目的を明確にして

関係者に発信、啓発

5. 考察 ～地域への浸透・継続に向けて～

① わかりやすく、とっつきやすく

⇒ **コンパクト化**

- ・2時間×1回くらいがちょうど良い？

⇒ **落とし所を明確化**

- ・具体的行動(福祉？環境？)と
- ・社会性(地域を良くする姿勢、シティズンシップ)

⇒ **バリエーション**

- ・様々な地域特性を踏まえて(鉄道等も)

5. 考察 ～地域への浸透・継続に向けて～

②意義や目的を明確にして発信、啓発

⇒まずは**授業・学校としての視点**から・・・

- ・交通は**教材として楽しい**(電車、バス好き)
- ・交通は身近に社会と繋がっていて**教育効果大?**

⇒それを、**自治体の視点**で見ると・・・

- ・交通担当者だから**できること**あり(=使命感?)
- ※”効果的な教育“、“将来のまちづくり”のため
- ・(加えて)社会性向上は**MM全般**の重要な効果
- ※他のMM、まちづくりを考える上で意義大?

→こういった視点で発信、目的共有が重要?

5. 考察 ～地域への浸透・継続に向けて～

②意義や目的を明確にして発信、啓発
⇒事業者や学校にとっての**メリット、インセンティブ**

- マスコミ、HP等を活用した**地域への発信**

- 成果を**地域で活用**してもらおう仕掛け
※イベントでの発表、バス車内への
掲示等

ご静聴ありがとうございました。

- | | | | |
|-------|------------------|------|------------------|
| ●馬籠智子 | 京都府建設交通部交通政策課 | 土崎 伸 | (株)オリエンタルコンサルタンツ |
| 仲尾謙二 | 京都府建設交通部交通政策課 | 岡本英晃 | 交通エコロジー・モビリティ財団 |
| 垣見昌克 | 亀岡市企画管理部夢ビジョン推進課 | 松村暢彦 | 大阪大学大学院工学研究科 |
| 大石利之 | 亀岡市政策推進室政策推進課 | 神田佑亮 | 京都大学大学院工学研究科 |